

令和元年度 中学生の「税についての作文」

柏税務署長賞

介護施設を訪問して

学校法人芝浦工業大学柏中学校 第三学年 大滝 直香

今年の夏休みに、初めて介護施設へボランティアに行ってきました。私の祖父母は元氣なので普通に自宅で暮らしていますが、デイサービスを利用しての高齢者の方々と接することが出来ました。介護のレベルも人それぞれで、様々な事情から介護サービスを受けている人がいました。介護福祉士に質問した結果、やはり、問題になっているのは給料が安いことです。将来、人手不足を解消するためには、給料を上げる等の働きやすい環境作りが大切だと思います。

そこで、介護保険について調べてみました。国の税金支出のうち、三割以上が社会保険費に使われていて、その中に介護保険が含まれています。介護保険は約十兆円を財源に運営されていますが、半分は保険料です。父親が四十歳になって、毎月の給料から引かれていくそうです。あとの半分は税金が支えています。今年の十月から消費税が十パーセントに上がる予定です。消費税増税の大きな目的は、今後、増大必至の年金・医療・介護という社会保障費を賄うという点にあります。しかし、税率を引き上げたところで、それで十分ということにはならないと思います。これから高齢化社会は急速に進み、特に介護保険には膨大な費用がかかると予想されています。社会全体で支えていないといけない深刻な事態になっています。

消費税増税を喜ぶ人はいないと思いますが、現状では仕方ないのかなと考えさせられました。私が買い物をする時に支払う税金が、介護保険に入って少しは人々の役に立ってくれると嬉しいです。また、この税金が介護サービスを受ける側だけでなく、介護施設で働く職員さんの給料の補助や介護施設の設備の充実に使われることを願っています。介護業界の人手不足の解消には、まずは安い給料を上げるのが一番だと思います。

みんなが安心して生活していくために必要な社会保障費に大切な税金を使っていきたいです。そして、政府には、消費税を支払う私達が納得いくような税金の使い方を考えてもらいたいです。将来、税金を負担する働き手の減少を食い止めるために、今は少子化対策に重点を置いているようですが、課題は山積みです。みんなで知恵を出しあって税金の使い道を考えるべきです。私が介護サービスを利用する頃には、消費税がさらに上がっているかもしれないけれど、今よりは住みやすい世の中になってほしいです。